

さまざまな野生動物の巣箱

巣箱は、樹皮がはがれて木のなかか腐るなどしてできた隙間（樹洞）を使って繁殖する野鳥のために人間が作った人工の巣穴のことです。野鳥全体で見ると巣箱を利用する種類は少ないですが、シジュウカラのように身近に多くの個体がいるものもいますので、巣箱を作成する場合、設置を考えている場所に生息する野鳥の種類を事前に調べておくことが重要です。



①オシドリ用（大型）
※大きな樹洞を好む。



②キビタキ用
※枯木の大きめな隙間を好む。



③コウモリ用
※暗くて狭い場所を好む。



④ブッポウソウ用（中型）
※大型キツツキの古巣を好む。



⑤セキレイ用
※岩壁の棚状の窪みを好む。



⑥フクロウ用
※大木の筒状の樹洞を好む。



⑦シジュウカラ用（小型・角切型）
※樹洞やキツツキの古巣等を好む。



⑧ムクドリ用
※戸袋のような狭い場所を好む。



⑨ヤマネ用
※樹洞を好む。

【写真提供】 巣箱：①～⑥米子水鳥公園、⑦杉山昌典（国立大学法人筑波大学※塩ビ管巣箱は現在特許公開中。）

野生動物：①～⑦桐原佳介、⑧森岡千尋、⑨杉山昌典（国立大学法人筑波大学※塩ビ管巣箱は現在特許公開中。）